

# 「術後補助療法時代におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術術後再発因子の検討」に関する研究

## 1. 研究の対象

対象となる患者様： 高知大学医学部附属病院にて、2014 年 7 月 1 日～2025 年 10 月 31 日までに、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を受けられ、腎細胞癌と診断された方の中で、以下の条件に該当する患者様。

- ・ 年齢が 20 歳以上 90 歳未満
- ・ 性別不問
- ・ 過去の腎細胞癌に対する治療歴については不問

## 2. 研究目的・方法

腎細胞癌は、手術でがんを取り除いた後でも再発することがあり、特に進行度や組織の特徴から「高リスク」とされる方では再発率が高いことが知られています。これらの患者さんには、再発を防ぐための術後補助療法が推奨されていますが、実際にどの程度の患者さんがこの治療の適応となるか（該当割合）、また導入されているかについては十分に分かっていません。

本研究では、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を受けた患者さんの診療情報をもとに、適応症例の割合、術後補助療法の導入率および導入・非導入の理由、再発に関係する要因を解析します。病歴、手術所見、病理結果、尿・血液・画像・病理検査所見などを用いて、再発リスクの高い患者像を明らかにし、今後の治療方針決定や再発予防に役立てることを目的としています。

研究期間：倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

利用又は提供を開始する予定日：2026 年 1 月 12 日～

## 3. 研究に用いる情報の種類

利用する情報：診療録から、診断名、年齢、性別、身体所見、臨床症状・所見、血液検査、尿検査、FDG-PET/ CT、CT、MRI 等の画像情報、病理組織所見、術後補助薬物療法（ペムブロリズマブ）の施行・未施行など。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部 泌尿器科学講座

電話；088-880-2402

【研究責任者】泌尿器科学講座 教授 井上 啓史（医師）

【研究分担者】泌尿器科学講座 助教 山本 新九郎（医師）